

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町廣島491-5 ☎(053)925-1562 FAX(053)925-6468
電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net ホームページ <https://www.tenkenkyo.net/>
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



光明山光明寺の大黒天像

天竜区山東にある光明寺。境内には一本の杉で作られたという国内最大級の大きさを誇る大黒天像が祀られています。金色の輝きがなんとも圧巻。思わず金運アップを願う手を合わせてしまいます。

CONTENTS

協会ニュース	2
特集 そこには城があった	4
ちょっとおすすめグルメ／かんとくさん	6
建設ギャラリー／最近のキーワード	7
マイファミリー／やじろべえ	8

上期

協会のニュース

令和8年度定時総会を開催

令和8・9年度の新役員を選任

5月26日に定時総会を開催しました。長谷川会長は、冒頭の挨拶の中で、「災害対応を通して建設業者の存在感を高めていきながら、協会の事業が成り立つようにしたい。」と話しました。

議事に入り、令和7年度事業報告、令和7年度決算案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。

その後、任期満了による理事・監事の選任が行われ、次のとおり新役員が決定しました。



長谷川会長

令和8・9年度協会役員

会長	長谷川智彦
副会長	今場嘉寿・道林尚人
理事	清水充・飯島雄一
監事	正久厚成・柏崎圭亮(新)
相談役	西村正則
総務・企画委員長	今場嘉寿
企画青年委員長	柏崎圭亮
広報委員長	清水充
労務委員長	石川雅彦(新)
IT委員長	金子匡弘(新)
土木委員長	正久厚成
建築委員長	吉田巧(新)
環境・災害対策委員長	正久厚成

安全祈願祭・安全大会を開催

工事事故の撲滅を誓う

7月3日、秋葉神社上社で安全祈願祭と安全大会を開催し、来賓及び会員約40名が参加しました。

長谷川会長が、リスク管理、無事故・無災害を呼び掛けた後、表彰式を行い、優良事業所表彰では熊石川組、磯森下工業、南福山建設の3社が表彰されました。また、会員から応募のあった安全標語87作品の中から、優秀作品として次の3作品が表彰されました。

○安全に作業する人 させる人

ワンチームできずけ ○災害

○市川保夫 磯森下兄弟工業

○チョットまった 小さな見落とし

大きな災害！

○鈴木拓 片桐建設

○現場の安全確認は 人目で

目を見て 現場見て

(原 哲也 龍川建設)



秋葉神社上社での安全祈願祭

浜松市から感謝状受贈

6年連続の受贈

令和7年度に浜松市で発生した土木施設等の災害において、被災直後の応急対応や早期の復旧に貢献したとして、6月24日、浜松市長から協会のほか会員9社に対し感謝状が贈呈されました。協会は6年連続の受贈になります。

災害危険箇所調査の実施

県・市 各土木事務所へ報告

企画青年委員会は、災害発生の際のある危険な箇所を歩いて探す調査を、5月中旬～6月中旬にかけて、



令和7年度災害復旧支援団体・企業への感謝状贈呈式

感謝状贈呈式





災害危険箇所調査

天竜・龍山・春野・佐久間・水窪の全5地区で実施しました。
この調査は、今年で11年目となります。
今回は、前年度の危険度A判定（危険度大）早期の現場確認が必要箇所、再点検を中心に調査を実施しました。
各地区からの調査報告は河川・道路の管理者ごとに集計し、県浜松土木事務所天竜支所の管轄で41件（天竜11、龍山2、春野24、水窪4）、浜松市天竜土木整備事務所の管轄で135件（天竜48、龍山31、春野35、佐久間18、水窪3）の、全176件でした。
調査報告書をまとめ、県と市の各土木事務所へ報告・提出しました。
近年増え続けているインフラ災害の未然予防対策や、地域の安全安心に繋がる活動として今後も継続しながら、



集合写真

協会の繋がりを通して協会活動が更に盛り上がる事を期待します。
夏休み親子現場見学会の実施
馬込川水門建設現場を見学
8月6日に天竜区内の小学生と保護者を対象に親子現場見学会を「馬込川水門建設現場」で実施しました。
当日は25名が参加し、県浜松土木事務所の職員の方から水門の役割や仕組み等についてインフォメーションセンターで説明を受けた後、水門の建設現場に行き、普段は入れない水門上部の操作室を見学するなどしました。
午後は、航空自衛隊浜松広報館「エアパーク」を見学。展示格納庫で航空機の展示を見たり、操縦席に

座って写真を撮ったりしました。
また、全周シアターで迫力満点の映像を楽しみました。

企画青年委員会・IT委員会 合同視察研修

TECH BEAT SHIZUOKA 視察

関西村組 金子匡弘

7月24日に天竜建設業協会企画青年委員会・IT委員会合同視察研修として、9名で「TECH BEAT SHIZUOKA」に参加しました。会場ではAIや通信、ロボティクス、DXなど、経営課題の解決につながる先端技術が数多く紹介されていました。
印象に残ったのは、ドコモビジネスのHAPSです。山間地や災害時でも安定した通信環境を提供できる技術であり、中山間地域のDXを支える重要なインフラになる可能性を感じました。

また、グリーンオブショア株式会社では、スマートフォンを活用した農業DXの取り組みに加え、人口研究者でもある石川氏から春野地区の人口動態分析についてお話を伺いました。その内容は非常に衝撃的で、現在の傾向が続けば2050年には人口が現在の約3分の1となる約1,000人規模まで減少する可能性があるとのことでした。



会場の様子(グランシップ)

私はこれまで、DXやICTの活用によって人口減少下でも地域インフラを維持していくことが重要だと考えていました。しかし今回の話を聞き、「将来、この地域はどのような姿になっているのか」「どのように暮らしや社会基盤を支えていくのか」という視点で考える必要性を強く感じました。
会場では生成AIを活用した業務効率化の事例も数多く紹介されており、建設業においても人手不足を補う有効な手段になると感じました。
今回の研修を通じて、DXやAIは単なる効率化のためではなく、人口減少が進む地域の暮らしを支えるための重要な手段であることを改めて認識しました。今後も新しい技術を積極的に学び、持続可能な地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

特集

そこには城があつた

第3回

光明城 — 天竜の山上に残る、戦国の記憶 —



山上に広がる光明城跡。静かな木立の中に、かつて城があつた面影が残る。

天竜の市街地から山々を見上げると、その奥に光明山があります。現在は静かな木々に包まれたこの山に、戦国時代、遠江北部の交通を押さえる山城がありました。光明城です。第1回「鳥羽山城」、第2回「二俣城」に続き、今回は今川・武田・徳川の攻防の舞台となった光明城を訪ねます。

秋葉街道を

押さえた山城

光明城は、今川氏が遠江を領有したころに整備された城郭です。武田氏が領有した際にも、秋葉街道に近い重要地点として認識され、兵士が配置されていました。人や物、軍勢が行き交う道を押さえるこの山は、戦国の世に大きな意味を持っていたのです。



「中曲輪」「定切」の道標。



天正3年の戦いを伝える「五人塚」。

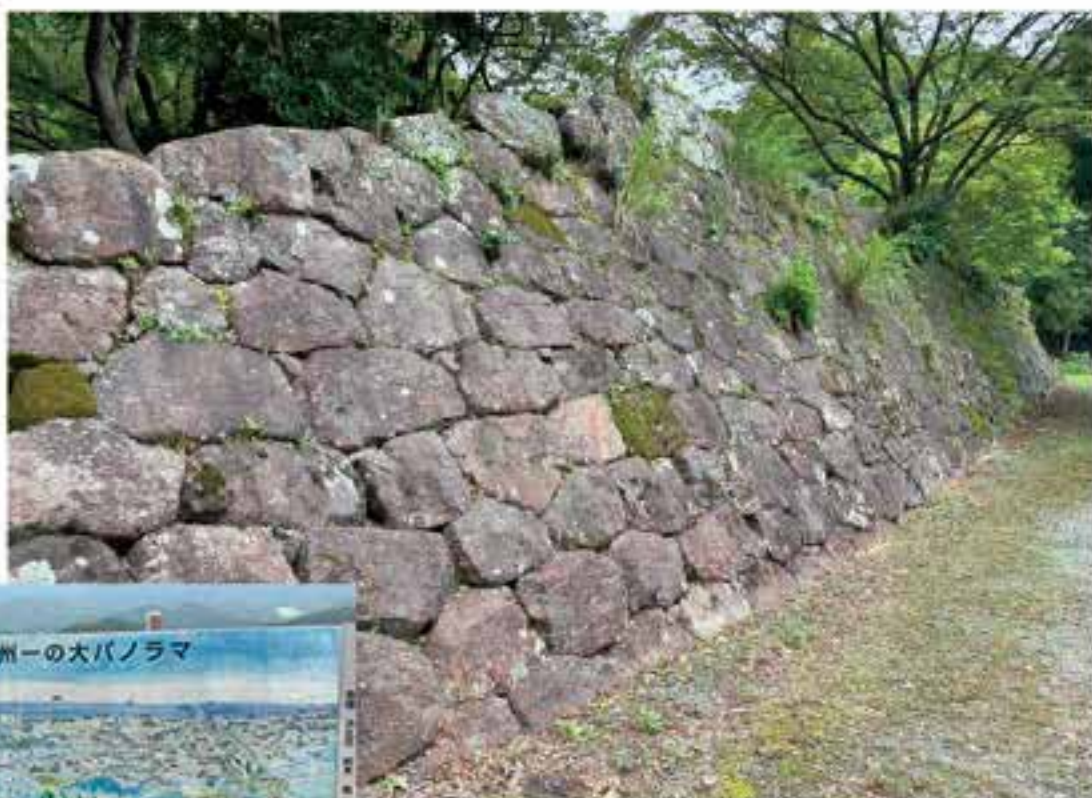
今川から武田、 そして徳川へ

元龜3年（1572）、武田氏は遠江へ本格的に進出しました。犬居城を拠点とした天野氏も武田方となり、光明城などの攻略に力を発揮したと浜松市の資料に記されています。その後、天正年間、徳川氏が二俣城などとともに光明城を攻め落とし、遠江支配を固めると、光明城は廃城となりました。前回紹介した二俣城とも同じ時代の攻防の中でつながついていた城なのです。

山中に残る

城の痕跡

城跡には、曲輪（くるわ）と呼ばれる平らな区画や、尾根を断ち切って敵の侵入を防ぐ堀切（ほりきり）など、山の地形を利用した山城の姿を感じさせる場所が残っています。城跡だと知って歩けば、何気ない山の起伏も違った景色に見えてきます。



旧光明寺の石垣。城が役目を終えた後、この地には曹洞宗の禅寺が建てられた。



城から寺へ

光明城が廃城となった後、この地には曹洞宗の禅寺が建てられました。現在、山中に残る大規模な石垣は、浜松市の資料でも「旧光明寺の石垣」と紹介されています。1931（昭和6）年の火災後、寺は現在地へ移転しました。城から寺へと役割を変えながら、この山には長い歴史が刻まれてきました。

そこには、確かに 城があった

山上から遠くを眺めると、なぜこの場所が重要視されたのか少し分かるような気がします。道を押さえる、人の動きを見張り、遠くの異変を知る。戦国の人々の目で眺めれば、いつもの天竜の山々も違った表情を見せてくれます。四百年以上の時が流れ、城の建物も武将たちの姿もありません。それでも山には、曲輪や堀切、戦いの記憶が残されています。そこには、確かに城があったのです。

ちよっ

おすすめグルメ



(株)竜栄組 森口 淳

◆ 三 角 屋 ◆

秋葉ダムの畔、赤い吊り橋の袂にお店を構える「三角屋」さんです。

寡黙な店主と陽気な女将とが技群のコンビネーションで、お料理を提供して下さいます。今回の訪問では豚汁をいただきました。8月の暑い暑中に冷房の効いた店内でいただく熱い汁物は、お野菜の味をしつかり堪能できる優しい味で、夏場に酷使した身体とお腹にふつと安らぎを与えてくれるようなお味でした。

定食メニューも豊富で、種類メニューに「茶そば」が並んでいるのがとても目を引きます。お腹が弱った際に一度食べてみたいものです。

お店の中はカウンター席とお座敷があり、ゆつくりと食事を楽しめる落ち着いた雰囲気、山合の穏やかな時間も共に楽しむことが出来ます。

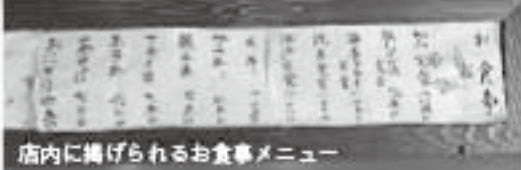
お店の施設はフリーWi-Fi完備、コード支払いも出来るようで、最新設備を備えた万全の体制です。

夜の営業はご予約のみとの事で事前

に電話等でご確認ください。定休日は毎週月曜日、店前に札が掲げられますので、目印にどうぞ。



山合の安心感を醸し出す店舗外



店内に掲げられるお食事メニュー

女将曰く、暖簾は出しても出さなくてもお客さんが入ってきてくださるので、あまり営業とは関係なしとの事です。お店に暖簾が出ていなくても勇気をもって突撃すると美味しい豚汁定食を食べられるかもしれません。

北濃路にお越しの際には国道152号を秋葉ダム手前で右折路地に入ってお店をお探しく下さい。



心も体も安らぐ豚汁定食

〒431-3804

静岡県浜松市天竜区龍山町大嶺 595-1

電話 053-969-0035

定休日 月曜日

営業 11:30~ 夜の営業はご予約のみ

かんとくさん



浜松市土木部
天竜土木整備事務所
春野土木グループ

小池 伸明

令和8年4月から天竜土木整備事務所春野土木グループへ配属となりました。事務職員ということもあり、土木に関する知識・経験もないため、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々学びながら職務に取り組んでまいります。

春野地域は、豊かな森林と清流に囲まれた自然豊かな地域です。その一方で、中山間地域ならではの急峻な地形や河川が多く、近年は台風や豪雨などの自然災害が頻発しており、日頃の道路等の維持管理や土砂災害対策、迅速な応急対応が必要であると感じています。

まだまだ至らない点も多くありますが、地域の皆様や事業者の皆様との連携を大切にしながら、春野地域の豊かな自然と暮らしを守るため、安全で持続可能な地域づくりに少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

建設ギャラリー

工事名：令和7年度一級河川相川緊急豪雨対策工事（護岸工）

工事箇所：浜松市天竜区佐久間町浦川地先

工期：令和7年9月11日～令和8年6月30日

発注者：静岡県浜松土木事務所

施工業者：㈱浦川建設

〈施工前〉



〈完成〉



本工事は、数年前の豪雨により崩壊した護岸工の修復工事です。

記憶をたどると、（蛇籠工→連結ブロック工→かごマット工）と50年間余に渡り、「施工しては崩壊し」を繰り返して来た箇所でありました。で、今回は十分な根入れ深を考慮した大型ブロック積工の設計となりました。ところが想定外の多量の湧水に苦しめられ、床掘作業が一向に進みませんでした。そこで一旦休工とし、変更協議となりました。その中では発注者の監督さん、コンサルさんを交えて柔軟に変更対応して頂き、なんとか無事に竣工に至る事ができました。

苦しんだ分だけ特別に、忘れられない現場のひとつになりました。

最近のキーワード

「新たな常識に

適応しタフな産業へ」

今年も「酷暑」と呼ぶにふさわしい危険な暑さが続いた。暦の上では秋を迎えても、日本屈指の猛暑地域として知られる浜松市内を包む空気は依然として厳しい熱気を帯びている。とりわけ屋外作業が中心となる建設業にとって、猛暑は経営と現場の安全を脅かす深刻な課題だ。

徹底した健康観察や日よけシェードの設置など基本的な熱中症対策に加え、日中の作業休止などの作業計画の見直し、無理のない施工管理など、柔軟なアプローチが求められている。

道路や建物など、日々の快適な暮らしを支えるだけではなく、災害時には命を守る盾ともなる建設業。持続可能な地域社会をつくるには、まず建設業そのものが持続可能でなければならぬ。

異常気象を「異常」と片付けず、新たな「常識」として捉え、官民が連携し、働く環境の根本的な改善を進めていくことが今こそ必要だ。新たな「常識」に適応しながら、持続可能な地域社会を支えるタフな産業への進化が今まさに求められている。

My Family

南飯島建設

飯島 雄一

小学6年生の孫です。
4年生から少年野球の
浜名ヤンキースに入部
しました。

それまでは1歳頃から
水泳を習っていました。が野球をやりたいとい
う事で水泳はやめてしまいました。6年生に
なってライトでレギュラーになり本人も親も
喜んでいました。この前の試合では三塁打と
ホームランを打ち少し自信がついたようです。
毎週土曜日・日曜日は暑くても少しの雨でも
練習し、焼津・磐田・袋井・掛川の方へ試合
をしに朝早くから行っています。

怪我をしても試合に出れなくても大きな声
を出して応援しています。今は中学で軟式か
硬式をやるかで悩んでいるようですが怪我を
しないように一生懸命頑張っていると思っ
ています。



ガンブラ 天龍土建工業㈱ 福田 匠

今回は、私の好きな「ガンブラ」を紹介し
ます。
ガンブラは、1980年代からテレビアニメ「機
動戦士ガンダム」から登場するモビルスーツ等を
立体化した日本を代表するプラモデルの総称であり、子どもから大人ま
で夢中になれる、男性であれば誰でも知っているホビーです。

このガンブラは、昔と違い様々のところが、進化しております。1つ
目は、まず接着剤が不要です。各パーツをパチッと合わせるだけで簡単
に組み立てることができるので、初心者でも安心です。2つ目に、各パー
ツに当初から色分けされているため、必要以上の
色付けの塗装作業が不要です。そのため、再
現度も高くなっており、組み立てるだけでアニ
メ化に近い姿になります。3つ目に、体の関節
部の可動域が幅広く設計されているため、きめ
細かいポージングを取れる様に工夫されていま
す。

このように、近年のガンブラは、プラモデル
業界の「高い技術力」や「組み立てやすさ」等、
自分色に染められる自由の高さが感じられます。

最後に、ガンブラを作る楽しさについてお伝
えしたいのは、完成品が自分だけの作品になる
ことです。私自身、小学生時代初めてガンブラ
の組み立て作業に上手いかわず悩むこともあり
ましたが、その分完成した時の喜びや達成感は、
何ものにも代えがたいものがあります。少し力
説してしまいましたが、単なる私の趣味以上に
自分自身以上の表現を持つことができるのが「ガ
ンブラ」の魅力と想っております。これから
ガンブラを作った楽しみたいと思います。



電子申請方式と建退共

電子申請方式とは
共通証紙に代わる「退避金ポイント」という電子
ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登
録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済
者の掛金として充当するものです。

●電子申請方式の申し込み方法は
電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡
県支部に提出。

**電子化で、煩雑な申請や書類管理の
手間を大幅に軽減できます。**

オンラインで業務効率化！
工事関係書類の電子化にも対応！
共通証紙等への提出作業が軽減！

**建退共加入事業所のみならず
電子申請方式をぜひご利用ください！**

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12 階 TEL 054-255-6846